



筑波山地域を日本ジオパークに！
 いしおかの大地の物語⑤

大地の恵みは杯の中に

地層からは記録された様々な情報を読むことができます。地表で見えない地層の記録を知ることが難しいのですが、深井戸を掘ると、そのような地層のことを知る機会があります。井戸が貫いた地層の情報を集めると地下の様子が分かりました。

多数の井戸の情報から、石岡付近の地下の様子が明らかになっています。山側の古い地層は、龍神山側から南東に向けて次第に深いところに分布してき、その上には地下水を貯めやすい新しい時代の砂や小石などが堆積しています。ところが、鹿島台地側ではそれより古い地層が浅いところまで存在していることが分かりました。その境界は直線的な不連続となっており断層が想定されています(下図)。

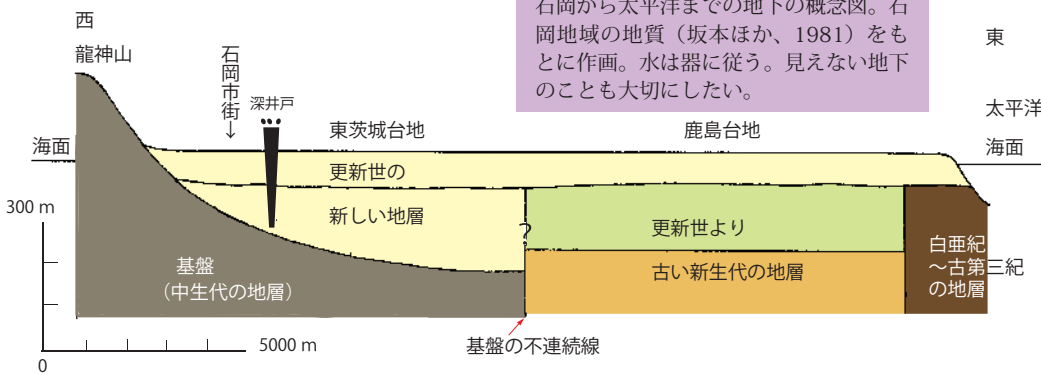
石岡の地下には水を溜める器となるより古い地層が東側をせき止められた皿のような形になっています。

しています。これが、石岡付近で深層の地下水が豊富な事情のようです。

大地の恵みは岩石鉱物やエネルギー資源にとどまらず、地下水もその一つです。近頃、汲み上げすぎが原因で地下水が減少しているといえます。地下水といえども有限の資源、大切にしたいものです。幸いにも恵まれた地下水は、地域に清酒・醬油・味噌という醸造業の花を咲かせてくれました。かつて関東の灘とも称された石岡では今も4つの酒蔵の美酒を味わうことができます。年末年始は祝い事も多い時期。市も乾杯条例で奨励しているのだから、大地の恵みに感謝して地元の酒で大いに祝おうではありませんか。

次回は古代の石岡を訪ねます。

石岡から太平洋までの地下の概念図。石岡地域の地質(坂本ほか、1981)をもとに作画。水は器に従う。見えない地下のことも大切にしたい。



矢野徳也
 (自然公園指導員)
 自然環境の調査や、学校などでの環境教育を精力的に活動している。

学ぶ
 ジオ

石岡てくてくジオツアー
 地形を見る目を磨こう

古代から豊かだった石岡の地形の成り立ちを学ぶチャンス。石岡の地形や地質を見て歩き、その成り立ちを学んでみませんか。

定員 30人(先着順)
 持ち物 お弁当・飲み物・雨具・タオル・筆記用具
 参加費 無料

日時 1月31日(土)・午前9時～午後4時

申込方法 1月5日(月)以降、電話でお申し込みください。

集合・解散場所 いしおかイベント広場(中央図書館前)

講師 池田宏氏(元筑波大学) 政策企画課

申し込み・問い合わせ ☎ 23-1111 (内線226)

海面が低かった15万年前には陸だった石岡が12万年前の高海面期には波が寄せる海になったことや、府中六井と呼ばれた泉があった理由も分かるようになります。

コース
 龍神山麓ふれあいの森入口～ 龍神の森キャンプ場～ 波付岩～ 常陸風土記の丘研修室(昼食)～ 府中六井の一つ石井～ イベント広場(集合場所から龍神山麓ふれあいの森入口まではバス移動。バスを降りてから歩く距離は約8kmです)